

研究番号 1169号 承認日 2020年3月10日

研究実施予定期間 承認日～2021年3月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	大腸癌肺転移の外科的治療成績	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場 合には品名と一般名も記載)	当科での診療頻度が比較的高い腫瘍である大腸癌肺転移の手術後の中長期予後を明らかにし、当院での外科的治療成績を公開することを目的とする。1998年1月から2019年12月までの間に当科で切除した症例について、診療録から得られるデータの集計と統計学的解析を行い、手術成績および予後因子を明らかにする。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	坂巻 靖 呼吸器外科 部長 大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	坂巻 靖 呼吸器外科 部長 大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント)について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	実施承認後 ～ 西暦 2021 年 3 月末日	
7. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科： <u>呼吸器外科</u> 担当者： <u>(氏名) 坂巻 靖</u> (職名) <u>部長</u> 連絡先：06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 686号 承認日 2017年2月10日

研究実施予定期間 承認日～2022年3月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	低肺機能肺癌手術症例における術前吸入薬の効果に関する臨床研究： 多施設共同前向き観察研究	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	<p>低肺機能肺癌手術症例に対する術前吸入薬導入後の呼吸機能が、術後合併症予測因子になり得るかを検討する目的で本研究を計画した。吸入薬によって呼吸機能が改善した場合に、良好な手術成績が得られるかを検討する。多施設共同の前向き観察研究で介入なし。以下に研究の背景を記す。</p> <p>肺癌に対する手術は肺葉切除かつ縦隔リンパ節郭清が標準術式であるが、年齢や併存疾患等を考慮し縮小切除が選択されることがある。慢性閉塞肺疾患 Chronic Obstructive Pulmonary Disease (COPD)を有する低呼吸機能患者は、高齢化とともに数自体も増加しているが、手術適応と判断され手術を行った症例の中には、術後呼吸不全や心肺合併症を来す症例が比較的高頻度に存在する。</p> <p>「COPD 診断と治療のためのガイドライン第4版」は、COPDのII期以上の重症例には長時間作用型気管支拡張薬の定期的使用を勧めている。低肺機能の肺癌症例に対して、術前呼吸機能の改善を目的として、術前に長時間作用型気管支拡張薬を用いることは一般的になりつつあるが、実際に術前の吸入薬による呼吸機能の改善が、周術期合併症や予後に与える影響は明らかになっていない。</p>	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	新谷 康 准教授 呼吸器外科学 大阪大学大学院医学系研究科	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	新谷 康 准教授 呼吸器外科学 大阪大学大学院医学系研究科	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法：研究責任者がパスワードを設定した USB メモリーに記録保存し、鍵の掛かるキャビネットに保管する。) <input type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院	

大阪市天王寺区北山町 10-31

診療科：呼吸器外科

担当者：(氏名) 坂巻 靖 (職名) 部長

連絡先：06-6771-6051

※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。